

PATENT  
89277.0005

Express Mail Label No. EV 325 216 916 US

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of:

Takehiro MIYAMOTO

Serial No: Not assigned

Filed: July 21, 2003

For: REAR LIGHTING DEVICE FOR  
MOTORCYCLES

Art Unit: Not assigned

Examiner: Not assigned

TRANSMITTAL OF PRIORITY DOCUMENT

Mail Stop PATENT APPLICATION  
Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

Dear Sir:

Enclosed herewith is a certified copy of Japanese patent application No. 2002-258377 which was filed September 4, 2002, from which priority is claimed under 35 U.S.C. § 119 and Rule 55.

Acknowledgment of the priority document(s) is respectfully requested to ensure that the subject information appears on the printed patent.

Respectfully submitted,

HOGAN & HARTSON L.L.P.

Date: July 21, 2003

By: 

Anthony J. Orler  
Registration No. 41,232  
Attorney for Applicant(s)

500 South Grand Avenue, Suite 1900  
Los Angeles, California 90071  
Telephone: 213-337-6700  
Facsimile: 213-337-6701

py50684070

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2002年 9月 4日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2002-258377

[ ST.10/C ]:

[ JP2002-258377 ]

出 願 人  
Applicant(s):

ヤマハ発動機株式会社

2003年 6月10日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3045208

【書類名】 特許願

【整理番号】 PY50684JP0

【提出日】 平成14年 9月 4日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 B62J 5/00

【発明者】

    【住所又は居所】 静岡県磐田市新貝 2 5 0 0 番地 ヤマハ発動機株式会社  
                                内

    【氏名】 宮本 丈弘

【特許出願人】

    【識別番号】 000010076

    【氏名又は名称】 ヤマハ発動機株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100081709

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 鶴若 俊雄

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 014524

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

    【包括委任状番号】 9102529

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 自動二輪車の後部灯火装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 後輪を覆うリヤフェンダにステーブラケットを介して左右に延びるフラッシュースターを取り付け、このフラッシュースターの左右両端の取付部にフラッシャーを取り付ける自動二輪車の後部灯火装置において、

前記フラッシュースターは、丸状パイプの左右両端を残して押圧して中央に前後方向に略平面な取付平面部を形成し、この取付平面部が水平になるようにして前記ステーブラケットに取り付けたことを特徴とする自動二輪車の後部灯火装置。

【請求項 2】 前記フラッシュースターは、前記取付平面部が上方になるように屈曲し、前記左右両端を下方に偏位させて前記ステーブラケットに取り付けたことを特徴とする請求項 1 に記載の自動二輪車の後部灯火装置。

【請求項 3】 前記フラッシュースターの前記取付平面部にライセンスランプを取り付けたことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の自動二輪車の後部灯火装置。

【請求項 4】 前記取付平面部の下側にライセンスランプを取り付けたことを特徴とする請求項 3 に記載の自動二輪車の後部灯火装置。

【請求項 5】 前記ライセンスランプとは別に複数の発光素子を有するテールランプを備えることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載の自動二輪車の後部灯火装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、自動二輪車の後部灯火装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

自動二輪車には、後輪を覆うリヤフェンダにテールランプを取り付けたものがあり（例えば、特許文献 1 参照）、このテールランプに複数の発光素子を用いる

ものがある。

【0003】

また、丸状パイプのフラッシュースターの左右両端にフラッシャーを取り付け、このフラッシュースターをホルダーによってリヤフェンダに取り付けたものがある（例えば、特許文献2参照）。

【0004】

【特許文献1】

特開平11-263257号公報（第2頁～第3頁、図8～図10）

【0005】

【特許文献2】

実開昭53-89285号公報（第1頁、第1図～第2図）

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

このように、丸状パイプのフラッシュースターが用いられると、別部品のホルダーによって取付状態が外部から見えなくする必要があり、部品点数が増加し、しかも取付構造が複雑になる。

【0007】

また、テールランプに複数の発光素子を用いると、電球のようにライセンスプレートを照明することができず、別に照明するためのライセンスランプが必要になるが、このライセンスランプの取付部が外部から見えると体裁が悪い等の問題がある。

【0008】

この発明は、かかる点に鑑みてなされたもので、部品点数を削減し、しかも取付構造が簡単で、かつ体裁が良い自動二輪車の後部灯火装置を提供することを目的としている。

【0009】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決し、かつ目的を達成するために、この発明は、以下のように構成した。

【 0 0 1 0 】

請求項 1 に記載の発明は、後輪を覆うリヤフェンダにステーブラケットを介して左右に延びるフラッシュースターを取り付け、このフラッシュースターの左右両端の取付部にフラッシャーを取り付ける自動二輪車の後部灯火装置において、

前記フラッシュースターは、丸状パイプの左右両端を残して押圧して中央に前後方向に略平面な取付平面部を形成し、この取付平面部が水平になるようにして前記ステーブラケットに取り付けたことを特徴とする自動二輪車の後部灯火装置である。

【 0 0 1 1 】

この請求項 1 に記載の発明によれば、丸状パイプのフラッシュースターの中央を取付平面部が水平になるようにしてステーブラケットに取り付けたから、フラッシュースター自体で上方からステーブラケットを覆うことができ体裁が良いと共に、覆うための別部材が不要で部品点数を削減することができる。

【 0 0 1 2 】

請求項 2 に記載の発明は、前記フラッシュースターは、前記取付平面部が上方になるように屈曲し、前記左右両端を下方に偏位させて前記ステーブラケットに取り付けたことを特徴とする請求項 1 に記載の自動二輪車の後部灯火装置である。

【 0 0 1 3 】

この請求項 2 に記載の発明によれば、フラッシュースターの取付平面部が上方になるように屈曲し、左右両端を下方に偏位させてステーブラケットに取り付けることで、フラッシュースター自体で上方からステーブラケットを覆うことができ体裁が良いと共に、覆うための別部材が不要で部品点数を削減することができる。

【 0 0 1 4 】

請求項 3 に記載の発明は、前記フラッシュースターの前記取付平面部にライセンスランプを取り付けたことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の自動二輪車の後部灯火装置である。

【 0 0 1 5 】

この請求項 3 に記載の発明によれば、フラッシュースターの取付平面部にライセンスランプを取り付けることで、ライセンスランプを簡単且つ確実に取り付けることができ、しかも外部から見えにくいようにすることができる。

【 0 0 1 6 】

請求項 4 に記載の発明は、前記取付平面部の下側にライセンスランプを取り付けたことを特徴とする請求項 3 に記載の自動二輪車の後部灯火装置である。

【 0 0 1 7 】

この請求項 4 に記載の発明によれば、フラッシュースターの取付平面部の下側にライセンスランプを取り付けることで、フラッシュースター自体でライセンスランプを覆い外部から見えにくいようにすることができる。

【 0 0 1 8 】

請求項 5 に記載の発明は、前記ライセンスランプとは別に複数の発光素子を有するテールランプを備えることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載の自動二輪車の後部灯火装置である。

【 0 0 1 9 】

この請求項 5 に記載の発明によれば、ライセンスランプとは別にテールランプを備える後部灯火装置の取付構造の簡素化が可能である。

【 0 0 2 0 】

【発明の実施の形態】

以下、図示の実施例によってこの発明の自動二輪車の後部灯火装置を説明する。図 1 は自動二輪車の側面図、図 2 はテールランプを取り付けたリヤフェンダの側面図、図 3 はテールランプを外したリヤフェンダの平面図、図 4 は後部灯火装置の背面図、図 5 は後部灯火装置の底面図、図 6 は後部灯火装置の側面図、図 7 は図 4 の V I I - V I I 線に沿う断面図、図 8 は図 4 の V I I I - V I I I 線に沿う断面図、図 9 は図 6 の I X - I X 線に沿う断面図、図 1 0 は図 6 の X - X 線に沿う断面図、図 1 1 は図 4 の X I - X I 線に沿う断面図、図 1 2 はステーブラケットの側面図、図 1 3 はステーブラケットの平面図、図 1 4 は図 1 2 の A 方向から見た図、図 1 5 はフラッシュースターの平面図、図 1 6 はフラッシュースターの半分を断面した背面図、図 1 7 はフラッシュースターの底面図、図 1 8 は図

15のXVIIII-XVIIII線に沿う断面図、図19は図15のXIX-XXI  
X線に沿う断面図、図20は図15のXX-XX線に沿う断面図、図21は図1  
5のXXI-XXI線に沿う断面図、図22は図15のXXII-XXII線に  
沿う断面図、図23は図15のXXIII-XXIII線に沿う断面図である。

【0021】

この実施の形態の自動二輪車1は、アメリカンタイプのものであって、前輪2  
と後輪3とのホイールベースがロードレーサタイプのものに比較して長くなっている。  
この自動二輪車1において、前輪2を回転自在に支持するフロントフォーク  
4は、車体フレーム5のステアリングヘッド6に回転可能に支持されている。

【0022】

車体フレーム5は、ステアリングヘッド6と、タンクレール7と、ダウンチェ  
ーブ8と、リアアームブラケット9からなり、これらにエンジン10を懸架する  
。

【0023】

リアアームブラケット9に軸支されたリアアーム11には、後輪3が軸支され  
るとともに、この後輪3の上部を覆うリアフェンダ12が設置される。また、タ  
ンクレール7上には、エンジン10の上方に位置して燃料タンク13が設けられ  
、燃料タンク13の後方には、リアアーム11の前部から上部にかけて2段にシ  
ート14が設けられる。

【0024】

リアフェンダ12は、後輪3の概略上半分の周縁部に側面視で重なっていて、  
全体が概略円弧形状を呈している。そして、リアフェンダ12の後ろ下がりの面  
12aは上方を向く後ろ下がり傾斜のほぼ平坦に形成され、この後ろ下がりの面  
12a上には、後部灯火装置15が取り付けられている。

【0025】

後部灯火装置15を構成するテールランプ20は、発光素子23、レンズ25  
を有し、発光素子23は、例えばLED発光素子を用いることができ、電球と比  
較して球切れがなくなる。

【0026】



リヤフェンダ 1 2 には、ステーブラケット 3 0 を介して左右に延びるフラッシュアースター 8 0 を取り付け、このフラッシュアースター 8 0 の左右両端の取付部にはフラッシャー 5 0 が取り付けられている。

【 0 0 2 7 】

ステーブラケット 3 0 は、図 1 0 乃至図 1 2 に示すように、左右両側の腕部 3 0 a にナット部 3 0 b を有し、また中央部 3 0 c にボルト部 3 0 d を有し、図 2 に示すように、リヤフェンダ 1 2 の裏側からボルト 3 1 をナット部 3 0 b に螺着し、ナット 3 2 をボルト部 3 0 d に螺着して固定する。

【 0 0 2 8 】

また、ステーブラケット 3 0 は、反射傘取付部 3 0 e、反射板ステー取付部 3 0 f 及びフラッシュアースター取付部 3 0 g、3 0 h を有している。反射傘取付部 3 0 e には、反射傘 6 0 のブラケット 6 1 がボルト 6 2 によって締付固定されている。反射板ステー取付部 3 0 f には、ライセンスブラケット 6 3 がボルト 6 4、6 5 により締付固定されている。

【 0 0 2 9 】

このライセンスブラケット 6 3 には、ライセンスプレート 6 6 がホルダ 6 7、ボルト 6 8 及びナット 6 9 を介して取り付けられる。また、ライセンスブラケット 6 3 の左右に延びるステー部には反射板 7 0 が取り付けられている。

【 0 0 3 0 】

フラッシュアースター取付部 3 0 g、3 0 h には、左右に延びるフラッシュアースター 8 0 が取り付けられる。フラッシュアースター 8 0 は、図 1 5 乃至図 2 3 に示すように、金属の丸状パイプの左右両端 8 0 a を残して押圧して中央に前後方向に略平面な取付平面部 8 0 b が形成され、この取付平面部 8 0 b が上方になるように屈曲し、左右両端 8 0 a を下方に偏位させてフラッシャー取付部 8 0 c が設けられている。

【 0 0 3 1 】

取付平面部 8 0 b には、開口 8 0 d が形成され、この開口 8 0 d の左右側には取付平面部 8 0 b の下側に取付ブラケット 8 0 e が設けられている。また、取付平面部 8 0 b の前側には取付ピン 8 0 f が設けられている。

## 【 0 0 3 2 】

フラッシュアステア 8 0 の取付は、取付ピン 8 0 f を図 7 に示すようにフラッシュアステア取付部 3 0 h に設けたグロメット 8 1 に嵌合し、取付ブラケット 8 0 e を図 1 1 に示すようにライセンスランプ 8 2 のランプ取付部 8 2 a と共に、フラッシュアステア取付部 3 0 g のガasket 8 3 にボルト 8 4 とナット 8 5 により締付固定されている。

## 【 0 0 3 3 】

このフラッシュアステア 8 0 の左右両端 8 0 a の取付部 8 0 c には、図 4 に示すように、フラッシャー 5 0 のダンパー 8 6 がボルト 8 7 によって取り付けられ、フラッシュアステア 8 0 は、丸状パイプの左右両端 8 0 a を残して押圧して中央に前後方向に略平面な取付平面部 8 0 b を形成し、この取付平面部 8 0 b が水平になるようにしてステーブラケット 3 0 に取り付けられている。また、フラッシュアステア 8 0 は、取付平面部 8 0 b が上方になるように屈曲し、左右両端 8 0 a を下方に偏位させてステーブラケット 3 0 に取り付けけることで、フラッシュアステア 8 0 自体で上方からステーブラケット 3 0 を覆うことができ体裁が良いと共に、覆うための別部材が不要で部品点数を削減することができる。

## 【 0 0 3 4 】

また、フラッシュアステア 8 0 の取付平面部 8 0 b の開口 8 0 d に臨むようにライセンスランプ 8 2 を取り付け、このライセンスランプ 8 2 の光は、開口 8 0 d からライセンスプレート 6 6 を照明する。

## 【 0 0 3 5 】

電源線や信号線のワイヤーハーネス 9 0 は、図 2 及び図 3 に示すように、リヤフェンダ 1 2 の内側のフェンダステア 9 1 との間の空間を通り、リヤフェンダ 1 2 の内側から外側に突出し、図 5 及び図 9 に示すように、ステーブラケット 3 0 の左右のホルダ部 3 0 i を通り、ホルダ部 3 0 i で他部材と干渉しないように保持される。ステーブラケット 3 0 の右側のホルダ部 3 0 i には、右側のフラッシャー 5 0 のライン 9 0 a が通り、左側のホルダ部 3 0 i には、左側のフラッシャー 5 0 のライン 9 0 b 及びライセンスランプ 8 2 のライン 9 0 c が通り、それぞれ左右のフラッシャー 5 0 及びライセンスランプ 8 2 に接続される。

## 【 0 0 3 6 】

この実施の形態では、複数の発光素子 2 3 を有するテールランプ 2 0 を備え、テールランプ 2 0 でライセンスプレート 6 6 を照明することが困難であり、テールランプ 2 0 とは別にライセンスランプ 8 2 でライセンスプレート 6 6 を照明する。フラッシュアステー 8 0 の取付平面部 8 0 b にライセンスランプ 8 2 を取り付けることで、ライセンスランプ 8 2 を簡単且つ確実に取り付けることができ、しかも外部から見えにくいようにすることができる。

## 【 0 0 3 7 】

また、フラッシュアステー 8 0 の取付平面部 8 0 b の下側にライセンスランプ 8 2 を取り付けることで、フラッシュアステー 8 0 自体でライセンスランプ 8 2 を覆い外部から見えにくいようにすることができ、ライセンスランプ 8 2 とは別にテールランプ 2 0 を備える後部灯火装置の取付構造の簡素化が可能である。

## 【 0 0 3 8 】

## 【発明の効果】

前記したように、請求項 1 に記載の発明では、丸状パイプのフラッシュアステーの中央を取付平面部が水平になるようにしてステーブラケットに取り付けたから、フラッシュアステー自体で上方からステーブラケットを覆うことができ体裁が良いと共に、覆うための別部材が不要で部品点数を削減することができる。

## 【 0 0 3 9 】

請求項 2 に記載の発明では、フラッシュアステーの取付平面部が上方になるように屈曲し、左右両端を下方に偏位させてステーブラケットに取り付けることで、フラッシュアステー自体で上方からステーブラケットを覆うことができ体裁が良いと共に、覆うための別部材が不要で部品点数を削減することができる。

## 【 0 0 4 0 】

請求項 3 に記載の発明では、フラッシュアステーの取付平面部にライセンスランプを取り付けることで、ライセンスランプを簡単且つ確実に取り付けることができ、しかも外部から見えにくいようにすることができる。

## 【 0 0 4 1 】

請求項 4 に記載の発明では、フラッシュアステーの取付平面部の下側にライセ

ンスランプを取り付けることで、フラッシュアースター自体でライセンスランプを覆い外部から見えにくいようにすることができる。

【 0 0 4 2 】

請求項 5 に記載の発明では、ライセンスランプとは別にテールランプを備える後部灯火装置の取付構造の簡素化が可能である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

自動二輪車の側面図である。

【図 2】

テールランプを取り付けたリヤフェンダの側面図である。

【図 3】

テールランプを外したリヤフェンダの平面図である。

【図 4】

後部灯火装置の背面図である。

【図 5】

後部灯火装置の底面図である。

【図 6】

後部灯火装置の側面図である。

【図 7】

図 4 の V I I - V I I 線に沿う断面図である。

【図 8】

図 4 の V I I I - V I I I 線に沿う断面図である。

【図 9】

図 6 の I X - I X 線に沿う断面図である。

【図 1 0】

図 6 の X - X 線に沿う断面図である。

【図 1 1】

図 4 の X I - X I 線に沿う断面図である。

【図 1 2】

ステーブラケットの側面図である。

【図 1 3】

ステーブラケットの平面図である。

【図 1 4】

図 1 2 の A 方向から見た図である。

【図 1 5】

フラッシュースターの平面図である。

【図 1 6】

フラッシュースターの半分を断面した背面図である。

【図 1 7】

フラッシュースターの底面図である。

【図 1 8】

図 1 5 の X V I I I - X V I I I 線に沿う断面図である。

【図 1 9】

図 1 5 の X I X - X I X 線に沿う断面図である。

【図 2 0】

図 1 5 の X X - X X 線に沿う断面図である。

【図 2 1】

図 1 5 の X X I - X X I 線に沿う断面図である。

【図 2 2】

図 1 5 の X X I I - X X I I 線に沿う断面図である。

【図 2 3】

図 1 5 の X X I I I - X X I I I 線に沿う断面図である。

【符号の説明】

3 後輪

1 2 リヤフェンダ

3 0 ステーブラケット

5 0 フラッシャー

8 0 フラッシュースター

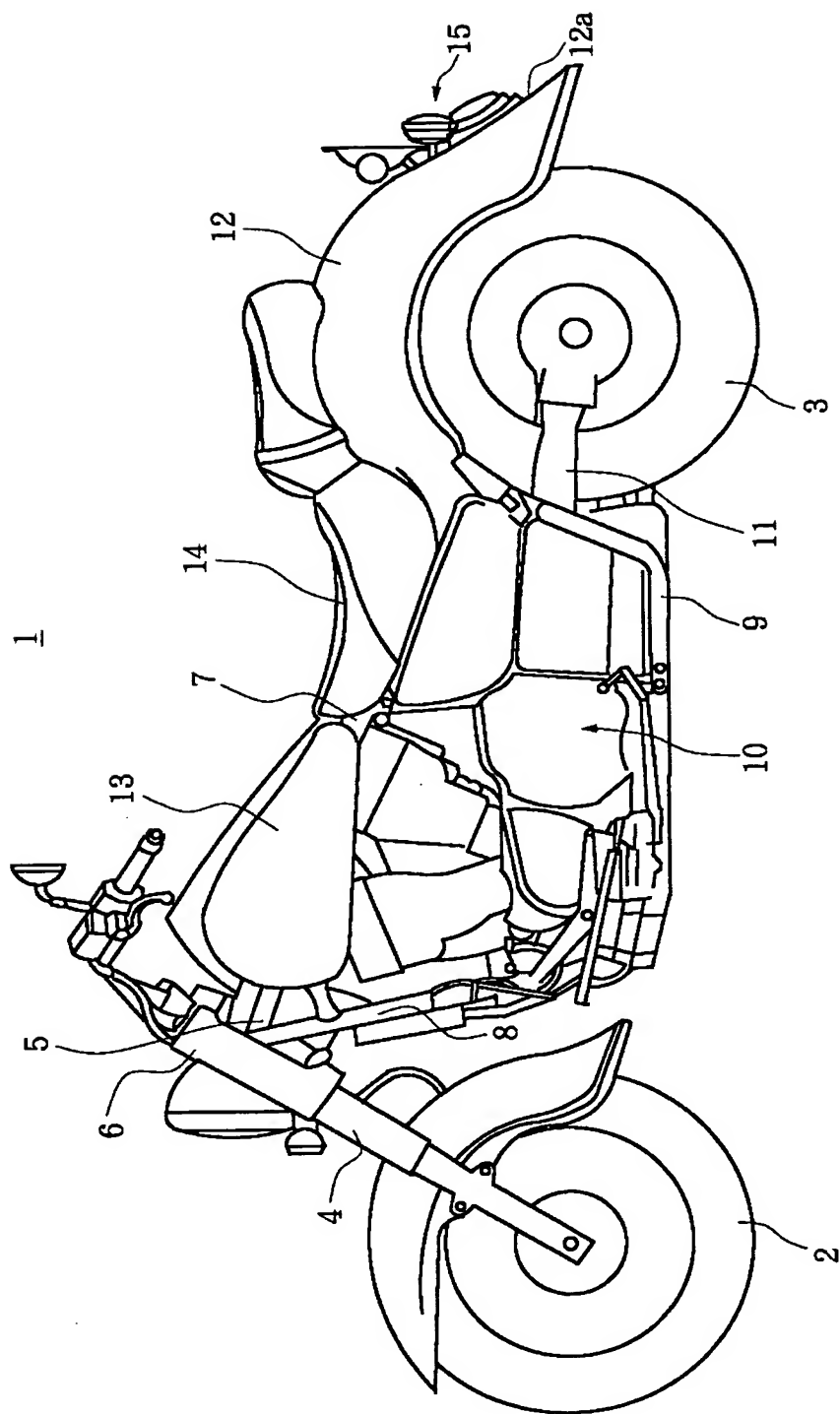
8 0 a 左右両端

8 0 b 取付平面部

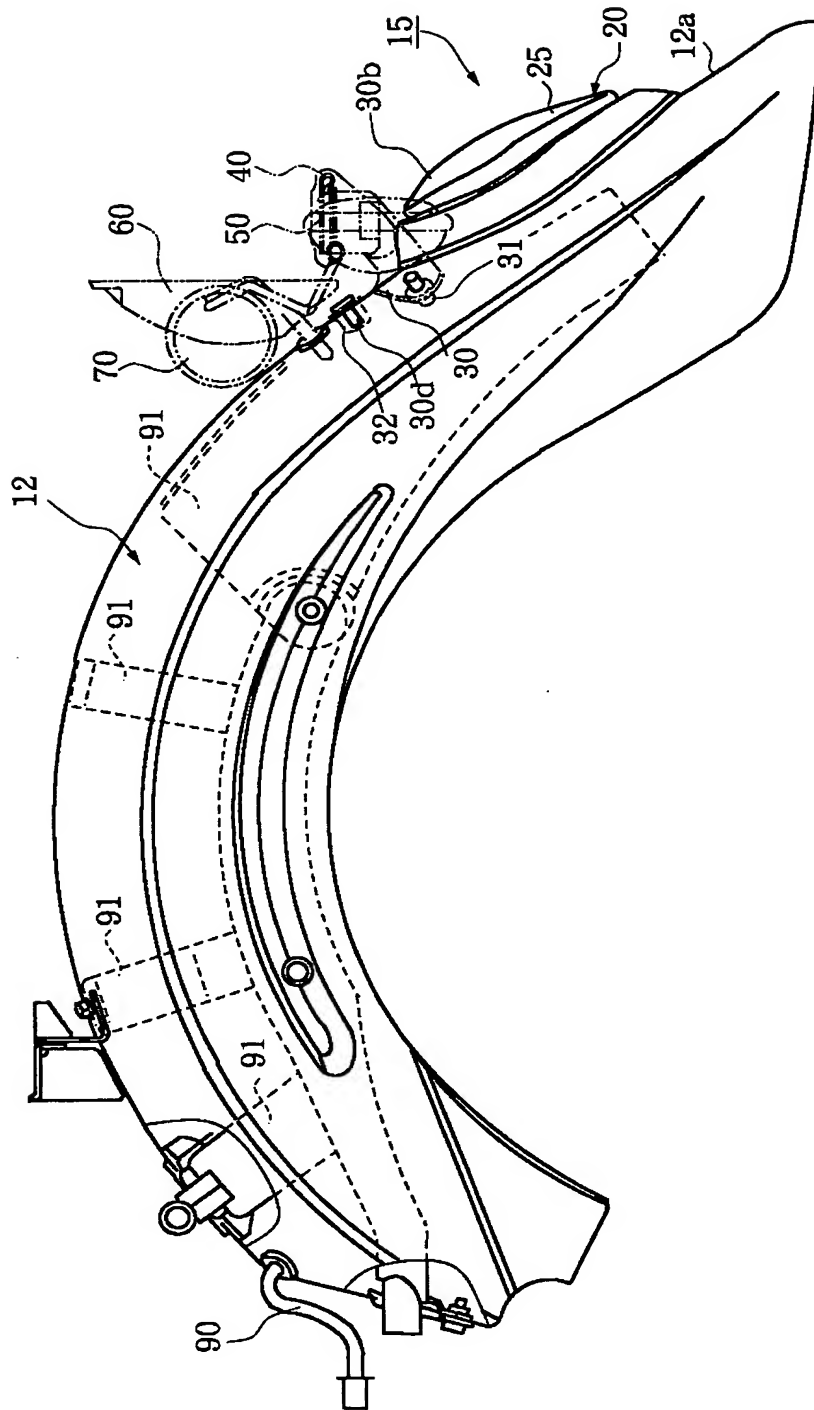
【書類名】

図面

【図 1】

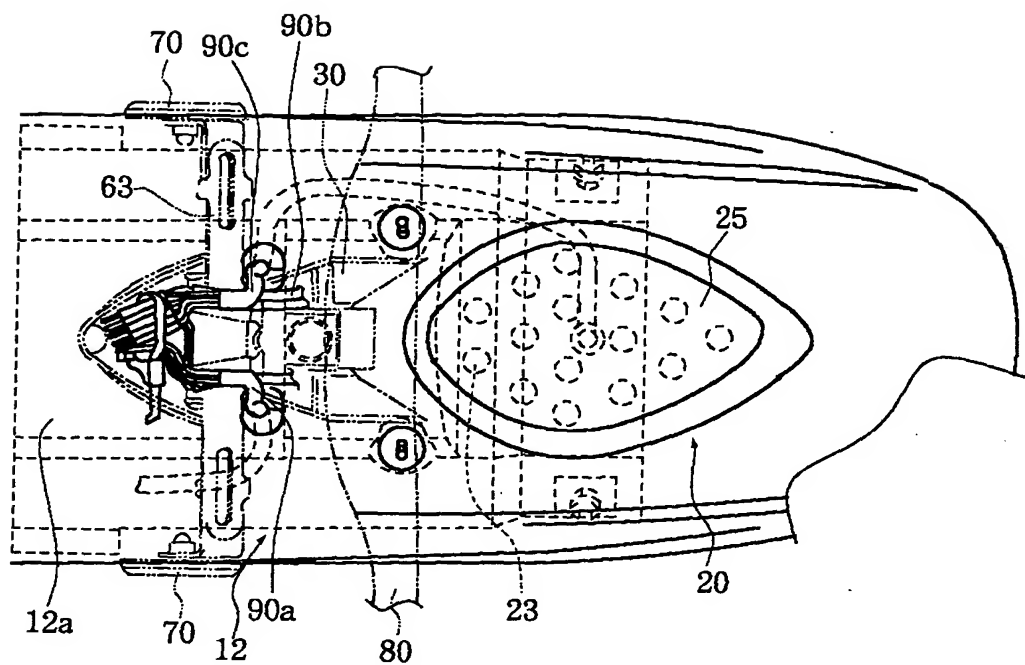


【図 2】

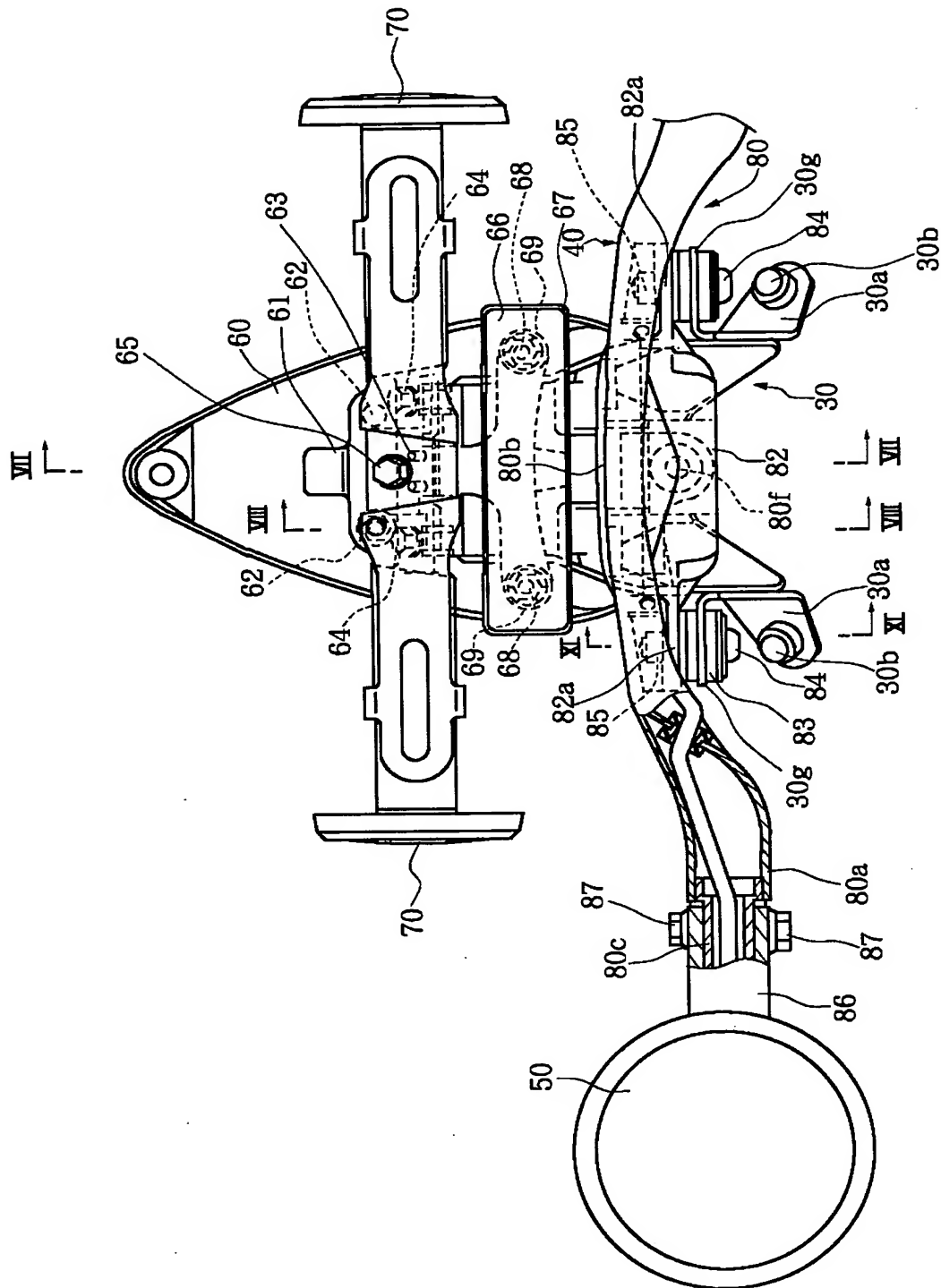




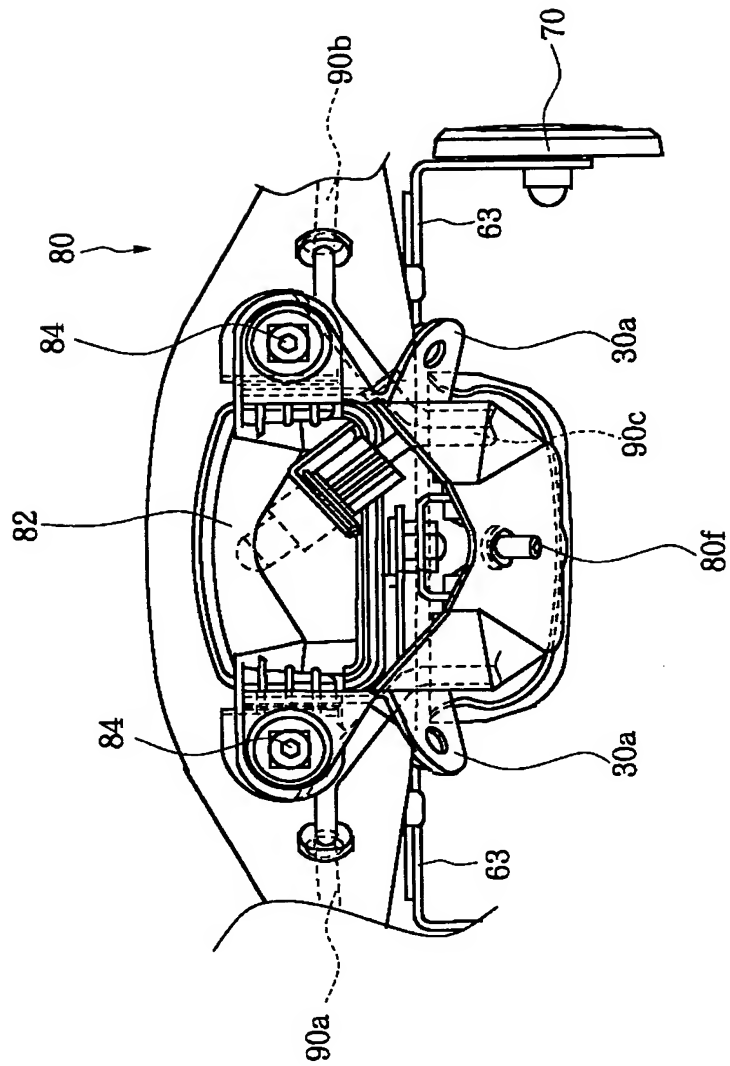
【図 3】



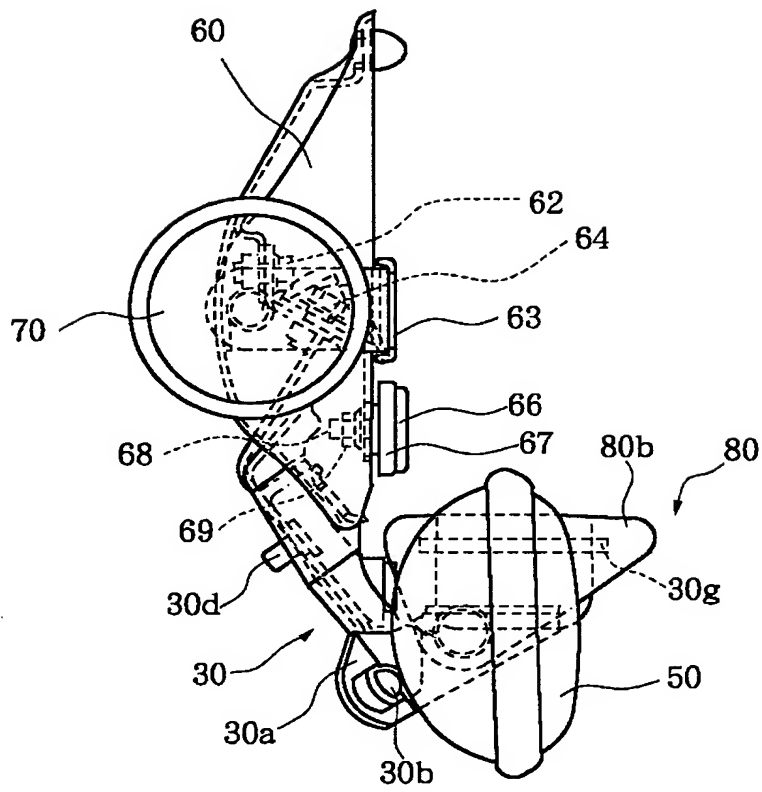
【図 4】



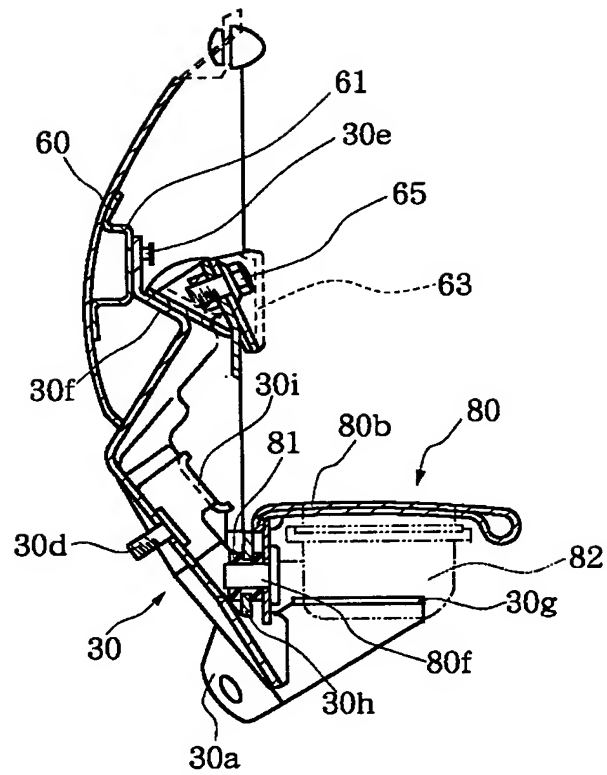
【図5】



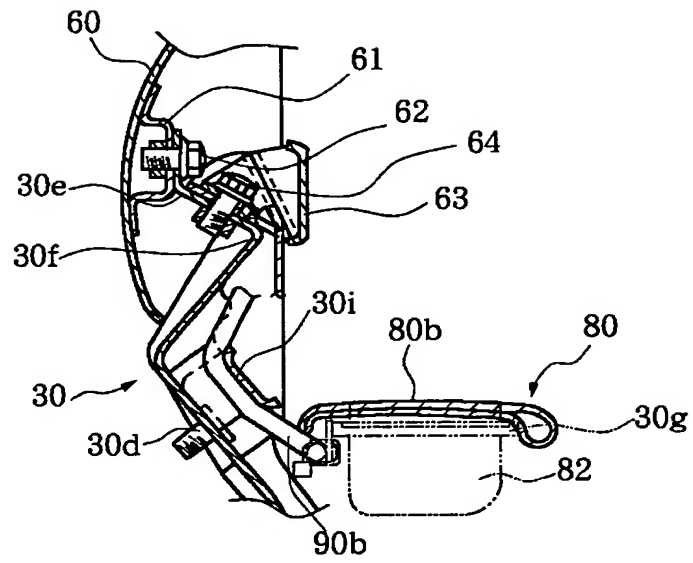
【図 6】



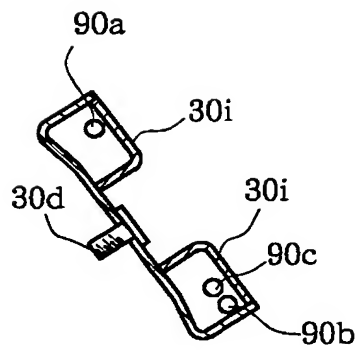
【図 7】



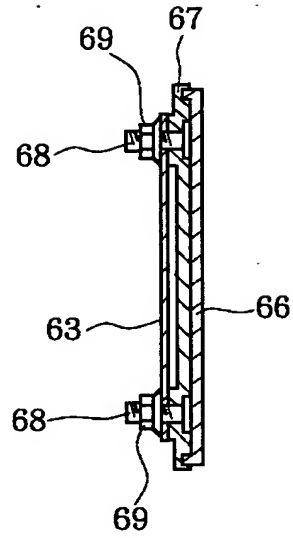
【図 8】



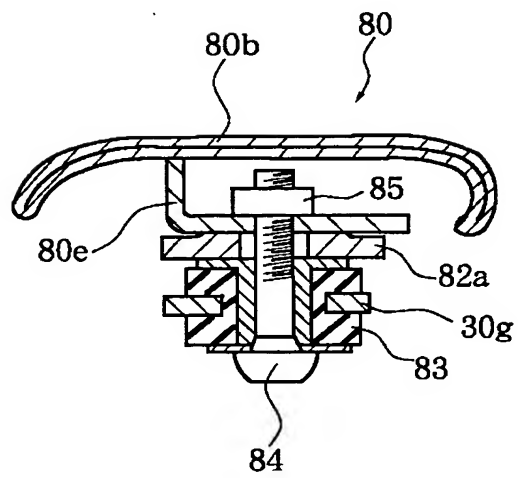
【図 9】



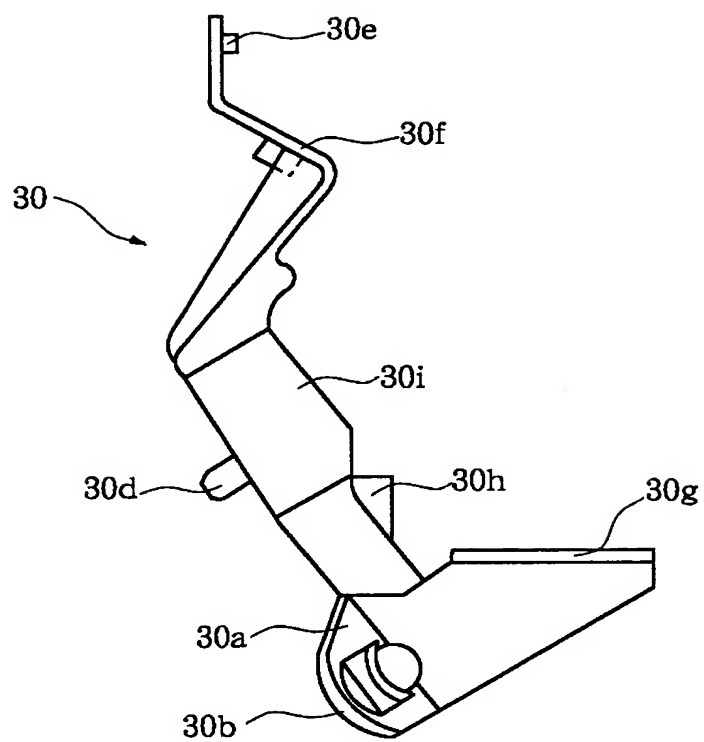
【図 1 0】



【図 1 1】

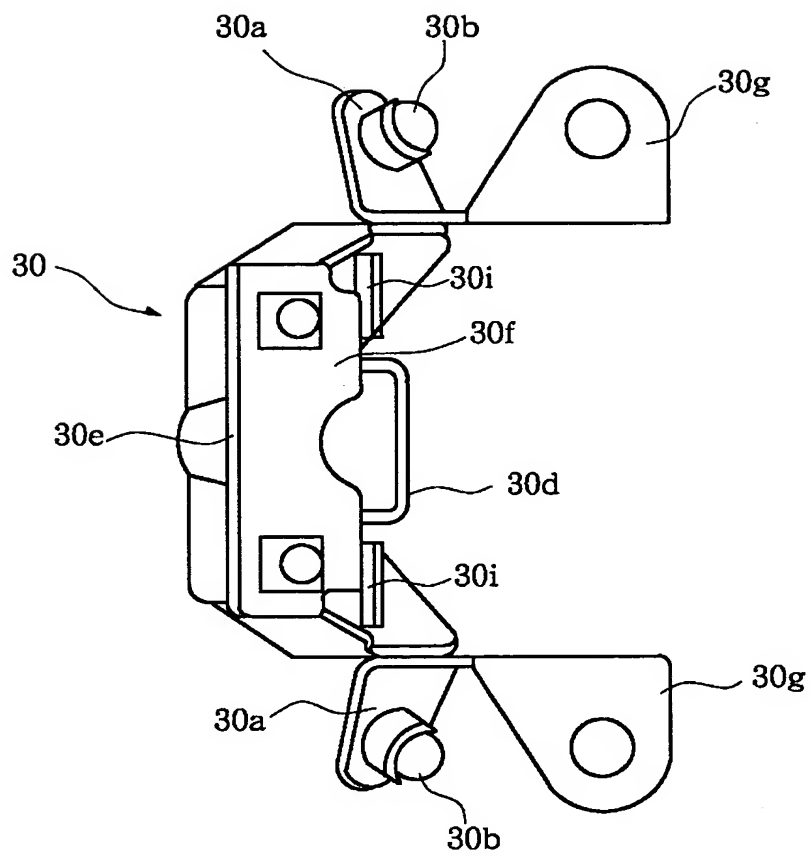


【図 1 2】

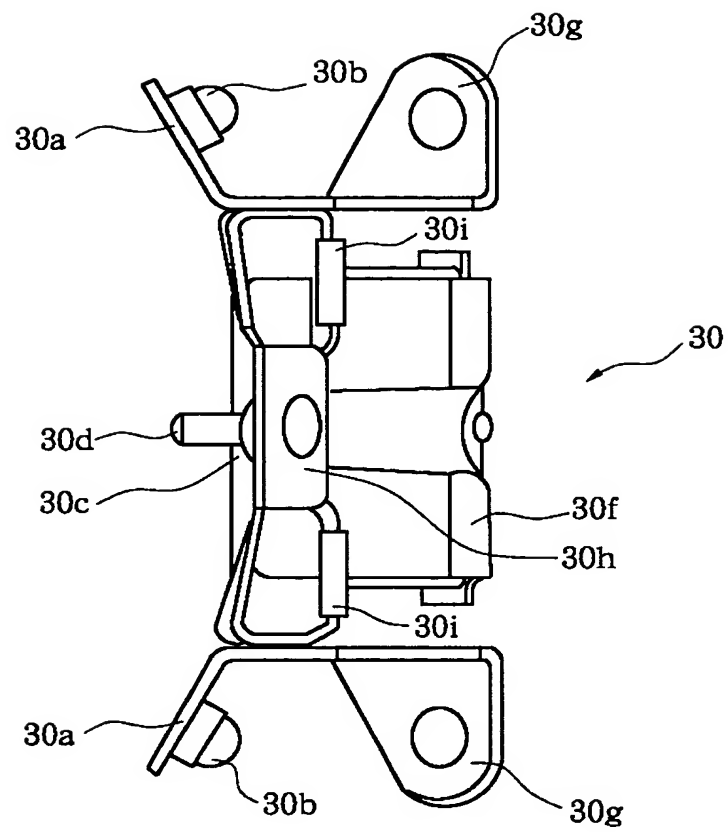




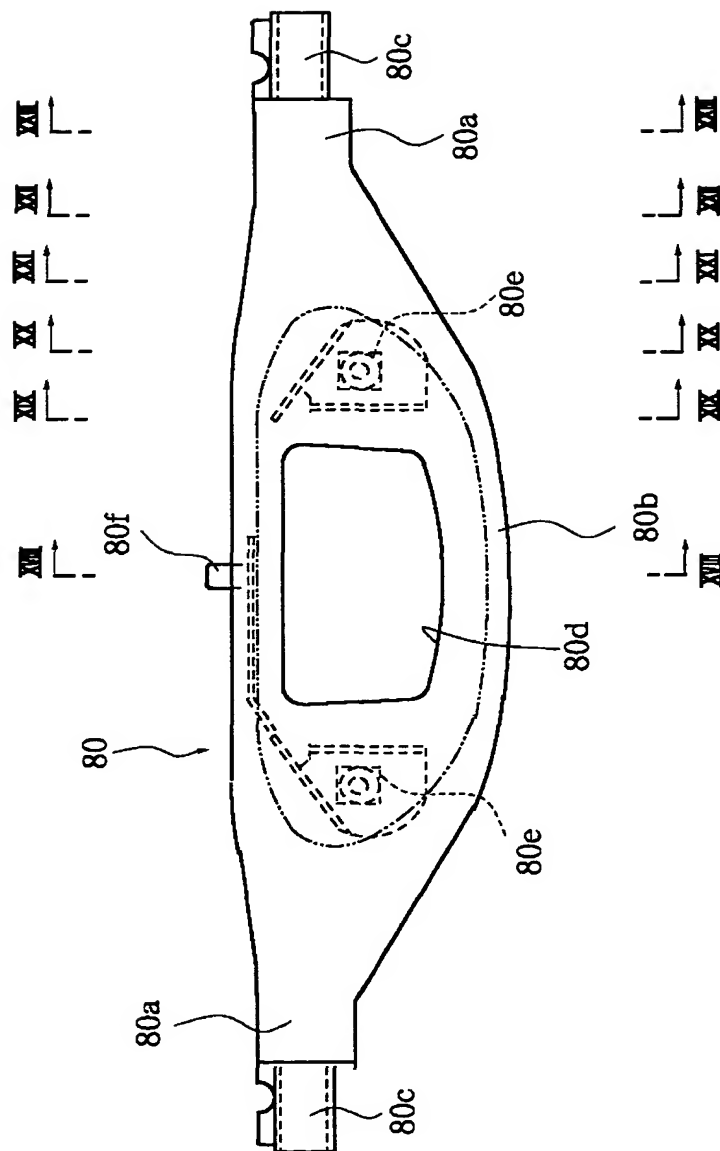
【図 1 3】



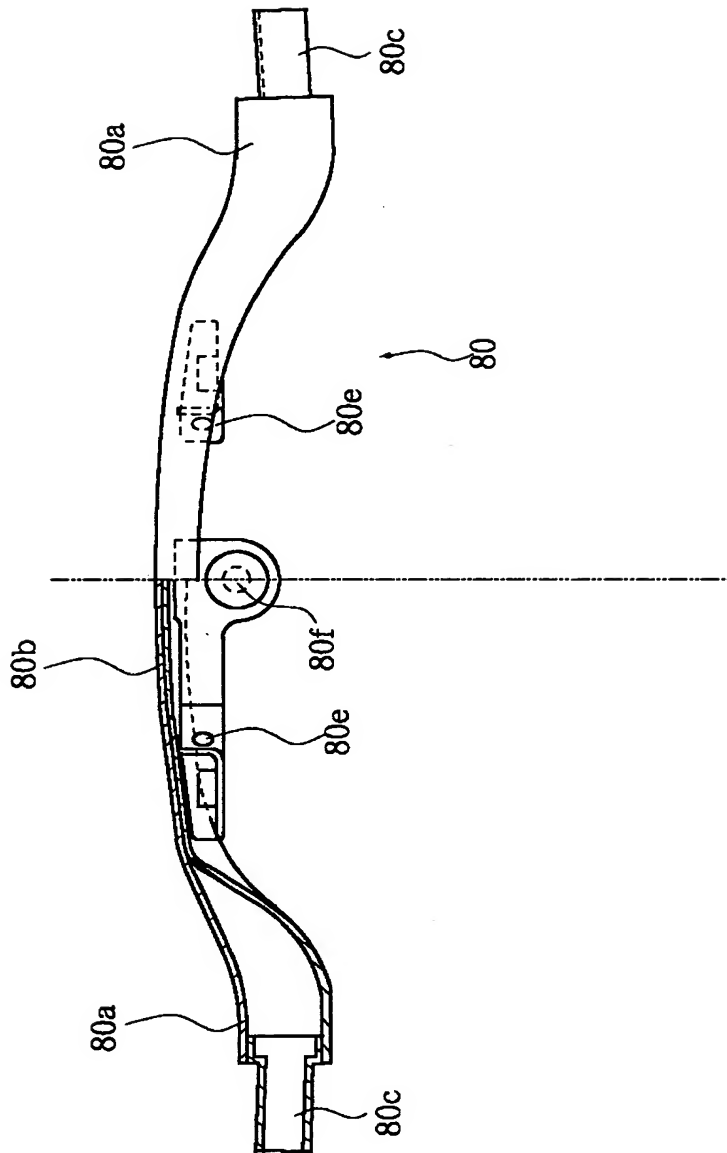
【図 1 4】



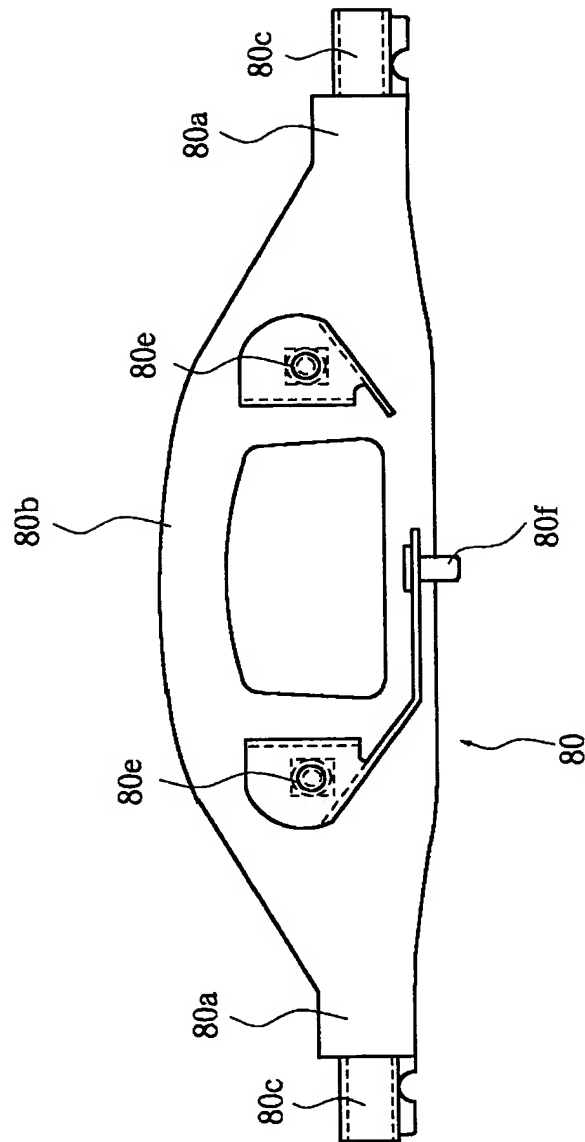
【図 15】



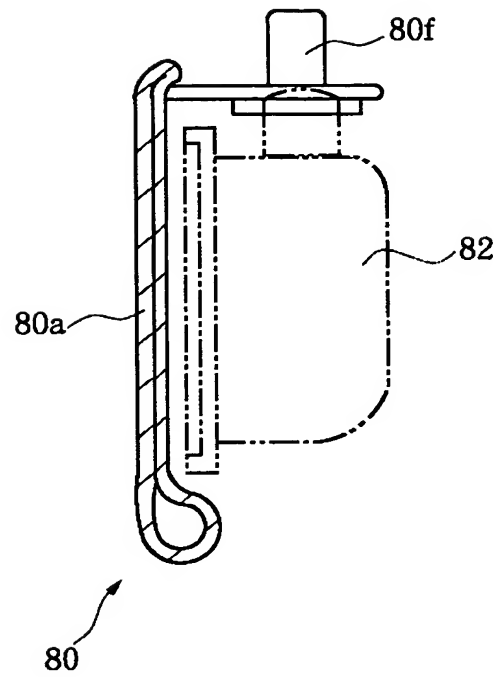
【図 1 6】



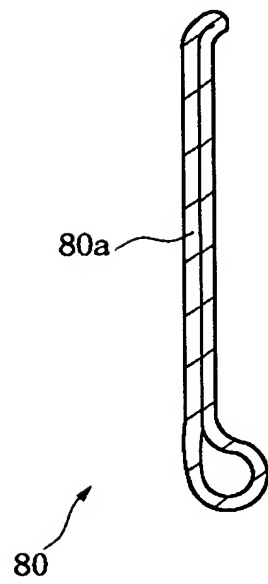
【図 1 7】



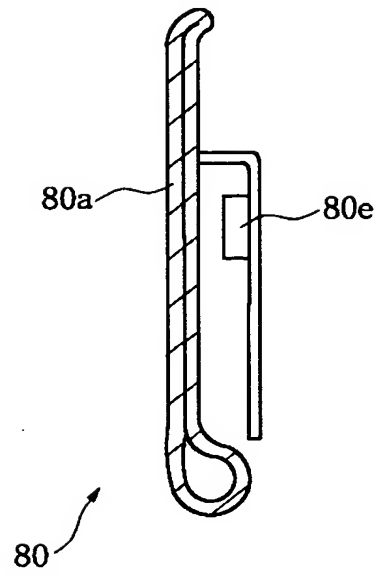
【図 1 8】



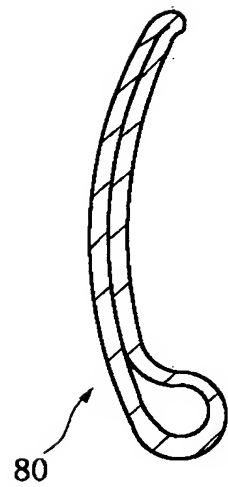
【図 1 9】



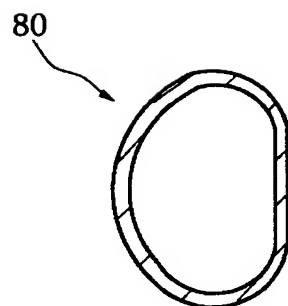
【図 2 0】



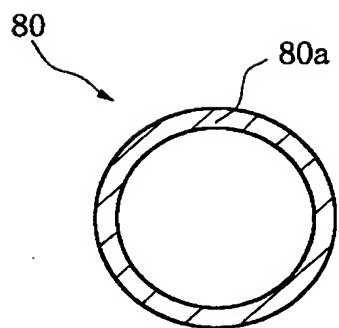
【図 2 1】



【図 2 2】



【図 2 3】





【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 部品点数を削減し、しかも取付構造が簡単で、かつ体裁が良い。

【解決手段】 後輪 3 を覆うリヤフェンダ 1 2 にステーブラケット 3 0 を介して左右に延びるフラッシューステー 8 0 を取り付け、このフラッシューステー 8 0 の左右両端の取付部にフラッシャー 5 0 を取り付ける自動二輪車の後部灯火装置において、フラッシューステー 8 0 は、丸状パイプの左右両端 8 0 a を残して押圧して中央に前後方向に略平面な取付平面部 8 0 b を形成し、この取付平面部 8 0 b が水平になるようにしてステーブラケット 3 0 に取り付けた。

【選択図】 図 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 0 0 0 0 1 0 0 7 6 ]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 2 9 日
[変更理由]	新規登録
住 所	静岡県磐田市新貝 2 5 0 0 番地
氏 名	ヤマハ発動機株式会社